# 全国港湾Fax通信

No.

| | |
|---|---|
| (公・事・取扱注意・親展)(写) | (発番) 全国港湾20FAX第73号 |
| (宛先)<br>各　四役、中執、単組委員長、地区港湾議長　殿 | 202年　4月　5日　時　分 |
| | (発信者)<br>全国港湾書記局 |

(件名)

## 21港湾春闘情報(2)

(本文)　21港湾春闘は3月24日に第3回中央港湾団交を開催し、業側は前回の回答からいくつかの項目で修正回答を行った。その後、3月30日に事務折衝を行い、次回団交に向けた、各種専門委員会の開催、日程について協議、検討を行った。

1．各単組の取り組み状況について(4月5日現在)

(1) 全 港 湾　① 3月1日までに要求書を提出し、スト権集約も3月1日までとした。回答指定日3月15日を第1回回答指定日とした。要求は、基本給一律20,000円、65歳までの定年延長、労災補償の引き上げ、初任給の引き上げ、伝染病等の休業補償を求めた。

② 158分会中72分会に有額回答が提示された。昨年同額を上回った分会は10分会、昨年同額が10分会となっている。85分会が回答待ちである。有額回答平均3,005円で、昨年の妥結平均額3,999円を下回っている。

(2) 日港労連　① 2月17日(水)13：00から東京芝浦会館において第1回港荷労使交渉を行った。港荷景況は「賃上げには応じない」とゼロ回答示した。中央闘争委員会は、21春闘賃上げに関する各個別労使対角線交渉を指示した。なお、賃上げ要求は基準内月額賃金20,000円及び6%引き上げ(基準内として)を要求している。

② 4月2日に開催した、第3回港荷労使再開交渉で、労側より、2,500円の賃上げ回答を宣言した。これを受けて、4月8日17時を期限として、各単組協定交渉へ下ろした。

(3) 検数労連　① 2月18日に第1回交渉を行い、要求書の提出を行い、回答指定日を3月25日とした。スト権集約は終了した。なお、要求は、本給一律20,000円とした。

② 4月5日第5回交渉で有額回答を提示した。日検が定昇2,491円、全日検が定昇1,300円。要求との関係で不満を表明、次回交渉で、ベースアップを含めた回答の提示を求めた。

(4) 検定労連　① 要求書提出は、3月2日とし、スト権集約は2月末日。なお、賃上げは6%要求とした。海事検定職組一人平均18，475円(6%)を要求、シンケン労組組合員一人平均17，456円(6%)を要求。

② 3月31日に労連団交を開催。ベアを前提に単組交渉に移行した。来週から、交渉に入る。

(5)全 倉 運　① 5%+αを統一要求基準とし、統一要求書提出日は3月10日(水)、統一回答指定日を3月24日(水)とした。
② 26単組に有額回答、単純平均で4,460円(1.69%)、加重平均で4,755円(2,968人)。

(6) 大港労組　① 基準内賃金月額20,000円を要求。2月25日(木)に第1回団交を開催し、要求書主旨説明を行った。次回は3月15日(月)を予定。
② 3月29日第3回団交を開催、ゼロ回答だった。次回団交を4月8日に開催予定。

(7) 全日通　① 要求書提出は2月15日(月)で、賃金10,800円の増額、一時金年間(夏季・年末合わせて)5か月、回答指定日は3月5日(金)、山場は3月18日(木)とした。
② 3月18日妥結。賃金3,470円(税込み/1.32%)、一時金は年間3.500ヵ月(夏、1.819ヵ月・冬、1.681ヵ月)

以 上